



ここは、とある町にある一風変わった診療所。悩みを抱えたユーザインタフェースたちがやってきます。Dr. ナカムラと一緒に病気を治してあげましょう。さて、今日の患者さんたちはどのような悩みを抱えているのでしょうか・・・

Dr. N「次の方どうぞ～」

患者「こんにちは。私は、とある銀行のアプリの登録画面です。一部のユーザさんから、名前を登録できない、登録してもログインできない、という不満が寄せられていて困っています」

Dr. N「うーん、ちょっと診せてもらえますか？」

患者「はいどうぞ (図1)」

アカウント情報を入力してください

お名前 ● ● 必須項目

山田 太郎

お名前(カナ) ●

※口座の登録内容と一致している必要があります。

ヤマダ タロウ

生年月日 ●

※口座の登録内容と一致している必要があります。

未選択

図1 よくある登録画面に見えますが・・・

Dr. N「見たところ、普通の入力フォームっぽく見えますが…。とりあえず試して私の名前を入力してみましょうか。『中村聡史』っと。あれ？普通に入力できますけど？」

患者「はい。ほとんどの方は問題無いのですが、一部の方から入力できないという苦情を頂いてまして…」

Dr. N「特定の環境(機種、OS、ブラウザなど)で不具合が出ることは考えられますが、苦情を出している人に何か共通点はありましたか？」

患者「共通点…と言えば、Android環境での不具合報告が多いです。あとは…そうですね、ユーザさんの『お名前』

が似ています」

Dr. N「『お名前』？」

患者「はい。例えば苗字の方では『佐々木』さま、『等々力』さま、『野々村』さま、名前の方だと『奈々』さま、『菜々』さま…」

Dr. N「では、試しに『お名前』の苗字の部分に『佐々木』姓を入れてみましょう。おや？エラーになりますね。えっと、『ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベットのみ入力してください』!? (図2)」

### アカウント情報を入力してください

お名前 ● ● 必須項目

佐々木

ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベットのみ入力してください

名が未入力です

図2 『佐々木』姓は漢字じゃない？

患者「はい。きちんと漢字で名前を入れているにもかかわらず、エラーになってしまうんです」

Dr. N「…なるほど、原因がわかりました。ちょっとこの漢字辞典のページで\*1『々』の字を調べてみて貰えますか？」

患者「はい…あれ？『結果はありません』と言われてしまいました」

Dr. N「このページ\*2ではどうですか？」

患者「あ！ありました。えっと、『踊り字と呼ばれる記号の一つで漢字ではありません』と書かれています」

Dr. N「はい。実は『々』は『丶』や『丶』と同じく『繰り返し』を示す記号(踊り字)のひとつで、『漢字』ではありません。なので、『漢字』を厳格に判断するAPIを使うと、このようなエラーが出ることになってしまいます」

患者「で、どうすれば良いのでしょうか？」

Dr. N「『踊り字』は漢字ではありませんが、氏名として使うことが認められています\*3。このように、氏名に使われる可能性のある文字は全て受け付けるように設計する必要

\*1 <http://kanjijiten.net/>

\*2 <https://kanji.jitenon.jp/>

\*3 同様に『一(調音符)』自体はひらがな・カタカナ・漢字のいずれでもないが、氏名としては使用可能。

があります。OS や使用言語によって文字種の判定方法は微妙に異なるので、事前に代表的な人名のデータベースなどを用いて、様々な環境で問題が出ないかチェックしておくことをお勧めします」

**患者**「ありがとうございました、治してもらいます」

**Dr. N**「ちなみに、この『お名前』の場所に、2つの入力場所がありますが、これもあまり適切ではありません」

**患者**「何か問題がありますか？」

**Dr. N**「『山田』『太郎』と書いてあるから、『山田』は姓で、『太郎』は名と判断できるだろう！と思って提示しているのだと思いますが、日本人以外だと少し悩ませてしまうことでしょう」

**患者**「確かに。治してもらいます」

**Dr. N**「また、このような姓名を分けるような入力フォームの場合、ミドルネームがある人はどうしたらよいのかなど悩ませてしまうことになります。ちょっと今調べてみたのですが、口座を開設したときには、ミドルネームは姓または名のどちらかにスペースなしでつなげて入力することになっているようです。口座の登録内容と一致している必要があるようですので、こういった点も注意する必要があるとの注意書きがありますし、そうした説明も出しておいた方が良いでしょう。ちなみに外国の方の場合、在留カードと口座の名前が一致しないときに問題になったりもしますので、で

きるだけわかりやすくしてあげた方がよいでしょうね」

**患者**「ありがとうございます！ 治してもらいます！」

**Dr. N**「はい、お大事に〜」

今回の症例はいかがでしたか？ 読者の皆さんも、なぜこのような問題が発生したのか、どうすれば改善できるのかを考えてみてください（下のカルテに一例がありますが、もちろん答えはこれだけではありません）。なお、よりよい改善方法を思いついた方や、Dr. ナカムラに診てもらいたい患者をご存じの方は、<http://up.badui.org/> にご一報ください。



**担当医：Dr. ナカムラ**

BADUI 蒐集家。

日々新たな BADUI との出会いを求め、カメラ片手に世界を飛び回る。

BADUI 凶鑑「失敗から学ぶユーザーインタフェース（技術評論社）」を出版。

Dr. トモクフの UI トリビア

『々』などの踊り字には固有の『読み』は無いので、入力する際に問題となりやすい。『々』の場合、分解するとカタカナの『ノ』『マ』に見えることから、『ノマ』と呼ばれることがある。実際に一部のかな漢字変換システムでは『ノマ』で『々』に変換されるものもある（富士通のワープロ『OASYS』が始めたという説が有力）。

診療カルテ	
ID	BADUI-30
氏名	名前入力できない入力フォームさん
原因・主要症状・経過など	<ul style="list-style-type: none"> <li>「佐々木」さんや「奈々」さんが名前入力できない入力フォーム</li> <li>姓・名・ミドルネームをどこに入力するか明示されていない</li> </ul>
処方・手術・処置など	<ul style="list-style-type: none"> <li>「々」などの踊り字に対応できるようにプログラムを修正する</li> <li>姓・名をどちらに入力するかラベルを付与する</li> <li>ミドルネームの扱いも Help を!</li> </ul>
	2019/5/24 <ul style="list-style-type: none"> <li>「佐々木」さんや「奈々」さんがひらがな漢字の字を入力して下さいと怒られる (佐々木は日本では13番目に多い!) ↳ 「々」が踊り字として判断され、除外判定された。</li> <li>ラベルが小さくわからない人も正確に入力するための要領や場合ミドルネームへの配慮も!</li> <li>「々」も旧字体(高や崎などが使えない)とは多いので事前にレコパリチェックする!</li> </ul> 中村 聡史 (明治大学)